



花売りの白川女, 東山, 京都, 1959年

開館20周年記念

# 写真家・濱谷浩

平成29年 9月2日|土| — 10月15日|日|

午前10時—午後6時 会期中無休 会場■砺波市美術館 企画展示室

観覧料■一般600円(500円)、高校生以下、障がい者(介助者1名を含む)無料

※( )内は20名以上の団体料金、65歳以上の割引料金

主催=公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団・砺波市美術館、読売新聞北陸支社 共催=北日本放送

後援=とнами衛星通信テレビ、エフエムとнами、とнами芸術文化友の会

協賛=キヤノンマーケティングジャパン株式会社、県民芸術文化祭 2017

監修=片野恵介・多田亞生 企画制作=クレヴィス

TONAMI ART MUSEUM  
砺波市美術館

〒939-1383 富山県砺波市高道145-1(砺波チューリップ公園内)  
TEL:0763-32-1001 FAX:0763-32-6361 <http://tonami-art-museum.jp>

濱谷浩(1915~1999年)は、人間と風土の関係性に着目し、過酷な自然の中で生きる人々の強さと快活さを捉えることで、地方にこそ日本の本質が存在することを写真で示しました。記録性を持ちながら、卓越した叙情性のある作風で知られ、1960年には、日本人初のマグナムフォトの寄稿写真家となり、後にハッセルブラッド国際写真賞(写真界のノーベル賞)を受賞するなど、海外でも高く評価された写真家です。

本展では、出発点から転換期までの1930年代~1960年代の仕事に焦点をあて、写真家・濱谷浩の足跡をたどります。新潟県桑取谷の民俗行事を撮影した「雪国」、人間と風土の関係性を深く追求した「裏日本」を中心に、戦前戦後の情景や風俗を撮り歩いた「モダン東京」「昭和戦後」、肖像写真の代表作である「學藝諸家」を展覧し、当時の雑誌や写真集、マグナムフォトの会員証など関連資料も含めて紹介します。とりわけ富山県上市町白萩の「アワラの田植」は「中央公論」に発表され、それがきっかけとなり、排水工事が行われた歴史的な作品です。



■ 関連催し ■

◇ 対談

飯沢耕太郎氏(写真評論家) ×

多田亞生氏(同展監修者)

日時:平成29年10月7日(土) 午後2時

会場:砺波市美術館 2階市民アトリエ(入場無料)

◇ 学芸員によるギャラリートーク

日時:平成29年9月9日(土)、10月1日(日) 午後2時

会場:砺波市美術館 企画展示室(要観覧券)



- ・北陸自動車道・砺波 I.C. から車で5分
- ・JR北陸新幹線「新高岡駅」、あいの風とやま鉄道「高岡駅」よりJR城端線に乗り換え20分、「砺波駅」下車、徒歩20分

TONAMI ART MUSEUM  
砺波市美術館

〒939-1383 富山県砺波市高道145-1(砺波チューリップ公園内)  
TEL:0763-32-1001 FAX:0763-32-6361 <http://tonami-art-museum.jp>

1 歌ってゆく鳥追い, 桑取, 新潟, 1940年  
2 日本髪と洋髪の芸者さん, 銀座, 東京, 1936年  
3 小正月十六日朝の祝餅, 桑取, 新潟, 1940-1946年  
4 ホンヤラ洞にゆく子どもたち, 十日町, 新潟, 1956年  
5 終戦の日の太陽, 高田, 新潟, 1945年  
6 津軽の男, 中里近郷, 青森, 1955年  
7 アワラの田植, 白萩, 富山, 1955年  
8 榎方志功, 1951年(1903-1975, 画家・版画家)